

第15回 研究・実践成果発表会

令和4年11月9日(水)に福岡市市民福祉プラザふくふくホールで開催しました！

○目的

当事業団では、福祉情報の発信の場として、各施設の取り組みや研究の成果、今後取り組むべき課題などの発表を行う「研究・実践成果発表会」を開催しています。各施設の情報共有することで、職員の専門性の向上を図るとともに、事業団のネットワークを活かした更なる事業の展開へと結びつけることを目的としています。

また、対外的に情報を発信し、関係機関の方々に事業団の取り組みを知っていただくことで、福岡市の障がい福祉推進に事業団をご活用いただきたいと思います。



○概要

第1部は、事業団事務局による事業報告を行いました。第2部は「研究・実践成果発表」として、事前に選考された4編の論文発表を行いました。

教育・行政関係者、当事業団役職員など、事業団内外から86名の方が参加しました。また、動画配信にて発表会を各施設で視聴できるようにしました。

○発表論文の選考方法

事前の論文審査により、提出された11編の論文の中から4編を「優秀賞」として選考し、第2部の発表論文としました。さらに、当日の発表審査を加え、その4編の中から「最優秀賞」及び「外部審査員特別賞」を各1編ずつ選考しました。論文・受賞者一覧は10頁をご覧ください。

< 事業報告 >



事務局総務課事業係から『福岡市の障がい者福祉における事業団の役割』について、法人設立から今日までの施設運営を振り返りながら報告を行いました。

「事業団の具体的な取り組みや、これまでの歴史が分かってよかった」「50周年を迎えるにあたり、今後の方向性を知ることができてよかった」という感想をいただきました。

< 研究・実践成果発表 >



今年度も、児童期・成人期・保護者支援など幅広い内容の発表が行われました。「コロナ禍における取り組みの工夫が参考になった」「このような機会は情報発信と連携強化に繋がると感じた」などの感想がありました。

発表された4編の論文のうち3編の概要は、4頁～9頁に掲載していますので、是非ご覧ください。